作業工程計画書

《　　》内に仕口の種類を【　　】に当てはまる内容を記入してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 作業工程 | ポイント（留意事項等） | 参考資料（写真、図面等） |
| 準備 | ・通路、作業場所を確認する。  ・道具の確認・準備をする。 |  |
| 木づくり  （垂木のみ） | ・材料を仕上がり寸法どおりに木づくりする。  ・かんなの仕上がりは中しこ仕上げとする。  ・面取りは糸面とする。 |  |
| 垂木の墨付け | ・課題図を読み取り、図面どおりに墨付けをする。  ・平勾配は【　　　】／１０　勾配とする。  ・垂木は上端及び下端に芯墨、母屋及び桁芯墨を入れる。 |  |
| 墨付け | ・材料の使い勝手を決め、材料を使う。ただし作業の安全性を優先して材料の配置を決める。  ・桁、梁、母屋には、上端及び下端の芯墨を入れる。  ・柱には４面とも芯墨及び峠墨を入れる。 |  |
| 桁 – 梁  《　　　　　　　　　》  柱 - 母屋  《　　　　　　　　　》  梁 - 柱  《　　　　　　　　　》 | ・梁と桁との取り合い墨を入れる。  ・桁と梁との取り合い墨は、《　　　　　　　　　　》とする  ・柱には、梁のほぞ穴墨（打ち抜きほぞ幅３０㎜）を入れる。  ・母屋には、柱のほぞ穴墨を入れる。  ・梁には柱との取り合い墨を入れること。又、ほぞにも芯墨を入れる。  ・母屋、桁に垂木掘りの墨を入れる。 |  |
| ○部材加工  機械作業[ほぞ穴掘り]  手加工 | ・加工に関しては安全に注意して、手入れの行き届いた工具を使用する。  ・穴あけ機械を正しく使用する。  ☆角のみ盤の注意点  固定をしっかりする。回転中【　　　　　】に手を持っていかない。  ☆電気ドリル注意点  ドリルの【　　　　　　】に注意する。通しであける場合、貫通側の足の位置に注意する。  ・各仕口の取り合いは課題図のとおりとする。  ・各仕口が加工のし過ぎ（のこの横挽きのし過ぎ等）によりグラつかない様に注意する。 |  |
| 組立 | ・組立てる時は、木殺しをして、あて木などを使い、傷などを残さないように組み立てる。  ・釘を課題図のとおりに打ちつけ止めつける。 |  |

作業工程計画書（模範解答例）

《　　》内に仕口の種類を【　　】に当てはまる内容を記入してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 作業工程 | ポイント（留意事項等） | 参考資料（写真、図面等） |
| 準備 | ・通路、作業場所を確認する。  ・道具の確認・準備をする。 |  |
| 木づくり  [垂木のみ] | ・材料を仕上がり寸法どおりに木づくりする。  ・かんなの仕上がりは中しこ仕上げとする。  ・面取りは糸面とする。 |  |
| 垂木の墨付け | ・課題図を読み取り、図面どおりに墨付けをする。  ・平勾配は【　６　】／１０　勾配とする。  ・垂木は上端及び下端に芯墨、母屋及び桁芯墨を入れる。 |  |
| 墨付け | ・材料の使い勝手を決め、材料を使う。ただし作業の安全性を考えて材料の配置を決める。  ・桁、梁、母屋には、上端及び下端の芯墨を入れる。  ・柱には４面とも芯墨及び峠墨を入れる。 | H-06-01-05\_訓練課題墨付け例図面 |
| 桁 -梁  《　大入れ蟻掛け　》  柱 - 母屋  《　平ほぞ差し　　　》  梁- 柱  《　小根ほぞ差し　　》 | ・梁と桁との取り合い墨を入れる。  ・桁と梁との取り合い墨は、《 大入れ蟻掛け 》とする  ・柱には、梁のほぞ穴墨（打ち抜きほぞ幅３０㎜）を入れる。  ・母屋には、柱のほぞ穴墨を入れる。  ・梁は柱との取り合い墨を入れること。又、ほぞにも芯墨を入れる。  ・母屋、桁に垂木掘りの墨を入れる。 |  |
| ○部材加工  機械作業[ほぞ穴掘り]  手加工 | ・加工に関しては安全に注意して、手入れの行き届いた工具を使用する。  ・穴あけ機械を正しく使用する。  ☆角のみ盤の注意点  固定をしっかりする。回転中【　キリ　】に手を持っていかない。  ☆電気ドリル注意点  ドリルの【 巻き込み 】に注意する。通しであける場合、貫通側の足の位置に注意する。  ・各仕口の取り合いは課題図のとおりとする。  ・各仕口が加工のし過ぎ（のこの横挽きのし過ぎ等）によりグラつかない様に注意する。 | システムユニット  HU105-0060-1  「電動工具・木工機械の取扱い」 安全衛生作業シートまたは　P13～参照 |
| 組立 | ・組立てる時は、木殺しをして、あて木などを使い、傷などを残さないように組み立てる。  ・釘を課題図のとおりに打ちつけ止めつける。 |  |

訓練課題作成手順（例）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 作成手順 | ポイント（留意事項等） | 参考資料（写真、図面等） |
| ○木づくり | ・垂木の仕上がり寸法は、「３５×４５（幅×成）」である。  ・かんな仕上げは、中しこ仕上げとする。また、糸面取りをすること。 | システムユニット  ＨＵ１０５－００１２－１  大工用工具の取扱い２（かんな・のみ）  Ｐ１５参照 |
| ○墨付け  垂木の墨付け  桁―梁  大入れ蟻掛け  柱―母屋  平ほぞ差し  梁―柱  小根ほぞ差し（上抜け材） | 加工組立てに必要な墨は、すべて付けること。  ・垂木は、上端及び下端の芯墨、桁芯墨を入れること。  ・桁には、上端及び下端の芯墨、梁との取り合い墨を入れること。 なお、梁との取り合い墨は、大入れ蟻掛けとすること。  ・柱には、４面に芯墨を入れること。  ・柱には、梁の穴墨（打ち抜きほぞ幅３０㎜）を入れること。  ・梁には、上端及び下端の芯墨、桁との取り合い墨を入れること。 | システムユニット  ＨＵ１０５－０５２１－１  床仕口１（あり・傾ぎ大入れ）  Ｐ１参照  システムユニット  ＨＵ１０５－０５２１－１  床仕口１（あり・傾ぎ大入れ）  Ｐ２２参照 |
| ○部材加工  桁―梁  大入れ蟻掛け  柱―母屋  平ほぞ差し  梁―柱  小根ほぞ差し（上抜け材）  加工作業 | 加工組立ての順序は、任意とする。  加工組立て及び各所の取り合いは、課題図に示すとおりに行うこと。  穴あけ作業は、機械（ドリル、角のみ等）を使用してもよい。  母屋のほぞ穴寸法は、３０×６０㎜とすること。（ほぞ穴の幅は、３０㎜を基本とする。）  ほぞ穴の深さは、材の半分とすること。 |  |
| ○組立 | 飼木（ねこ）は課題図のとおり２本の釘で固定すること。 |  |